



9月定例会

平成22年第3回町議会定例会が、9月28日から10月5日にわたって開かれました。
補正予算などの議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。
また、平成21年度の12会計決算を決算審査特別委員会に付託し、審議の結果、いずれも認定されました。

22年度補正予算

◎一般会計補正予算

3億208万5000円を追加し、予算額は9億1090万2000円となりました。

補正の主なものは、地上デジタル放送共聴施設整備補助金のほか、病院事業会計操出金、インフルエンザ予防接種料金助成費、中山間地域等直接支払交付金などです。

◎国民健康保険事業特別会計補正予算

308万3000円を追加し、予算額は16億7706万7000円となりました。

補正の主なものは、退職者医療交付金精算返還金のほか、レセプトオンラインシステム等改修業務などです。

◎老人保険特別会計補正予算

4万2000円を追加し、予算額は107万6000円となりました。

補正の主なものは、老人医療交付金精算返還金です。

◎介護保険事業特別会計補正予算

479万8000円を追加し、予算額は9億3060万6000円となりました。

補正の主なものは、介護給付費負担金等返還金などです。

◎介護サービス事業特別会計補正予算

9万2000円を追加し、予算額は7210万8000円となりました。

補正の主なものは、修繕料です。

◎簡易水道事業特別会計補正予算

250万円を追加し、予算額は5億1536万9000円となりました。

補正の主なものは、若松地区配水管布設工事です。

◎公共下水道事業特別会計補正予算

50万9000円を追加し、予算額は7億120万2000円となりました。

補正の主なものは、下水道新設工事などです。

◎病院事業会計補正予算

収益的収入及び支出において、719万5000円を追加し、予算額は12億8304万円となりました。

補正の主なものは、給与な

ど人件費です。

また、資本的支出では医療機器購入費等で1504万4000円を増額し、予算額は7889万6000円となりました。

決算認定

◎平成21年度一般会計、特別会計の決算認定

一般会計のほか11会計の決算は、本定例会において決算審査特別委員会（阿部清委員長）を設置し、休会中の10月4日・5日に審査され、再開された本会議において認定されました。

賛成討論（一般会計）

平澤 等 委員

その他

◎せたな町過疎地域自立促進市町村計画の策定

過疎地域自立促進特別措置法の一部改正に伴い、同法第6条第1項の規定に基づき、せたな町過疎地域自立促進市町村計画を策定するものです。

※過疎地域自立促進市町村計画とは？

「地域が自立促進のための施策を実施するために策定するもの」としており、過疎対策事業債や補助金など財政上の特別措置を受けるために必要なものです。

◎物品購入契約の締結

・購入物品名

行政情報ネットワーク用パソコン

・契約の相手方

札幌市中央区北1条西6丁目1番地

東日本電信電話㈱

北海道支店

・契約金額

1618万500円

◎檜山広域行政組合規約の一部変更

檜山広域行政組合の共同処理する事務の変更及び檜山広域行政組合規約の変更によるものです。

報告

◎平成21年度健全化判断比率・公営企業資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、町監査委員の審査意見を付して報告がありました。

財政健全化指標は、実質公債費比率で19・5%（前年度比2・3ポイント減）、将来負担比率で108・3%（32・6ポイント減）と前年度に比べ大きく減少となり、厳しい財政状況の中、財政健全化に向けた努力がなされました。

※実質公債費比率とは？

町の収入に対する実質的な借金の比率です。

◎平成21年度北檜山区、瀬棚区、大成区会計歳入歳出決算報告

市町村合併の特例に関する法律の規定に基づき、報告がありました。

同意

◎教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、大成区都柗田道廣さんの任命（再任）に同意しました。

賛成13票 反対1票 白票1票



柗田 道廣さん

議会広報研修会で学ぶ

8月20日札幌市内の第2水産ビルで、議会広報研修会があり、当町から、4名の委員が参加しました。

広報コンサルタントの深沢徹氏による「議会広報・改革の提言」ありのまに、わかりやすく、住民とともに」と題した講演が行われました。

議会広報は住民と直結する重要な役割を担っていますので、これから読みやすく、



簡潔にわかりやすい広報にするよう努力していきます。

議会を傍聴してみませんか

町政はあなたのために…

次の定例会は12月16日からを予定しています。

お気軽においでください。